

【白井晃・木村達成インタビュー】

孤独な心と亡き人々の魂を乗せて宇宙を旅する汽車
世紀を越えて今、伝説の舞台が新たに甦る

星祭りの夜、町外れの丘から孤独な心と亡き人々の魂を乗せた天翔ける汽車が静かに走り出す。37歳で早逝した作家・宮沢賢治が執筆と改稿に7年余を費やしながらか、未完成のまま世に遺した永遠の名作「銀河鉄道の夜」。KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督の白井晃は、この小説を1995年、青山劇場開館10周年記念作として演出しました。賢治が没した同じ37歳の時に依頼を受けた、大ホールでの初演出作。白井は当時を振り返り「1000席を超す大空間を前に足のすくみを感じつつ臨んだ初演。でもプランナーや俳優陣の力も借りながら創作を進めることで、劇中での音楽や身体表現の在り方、アングラ世代の先輩方やプレイトから学んだ異化の手法など、自分なりの芝居作りの方法論、作風のようなものを確立することができました。だからこそいつか再演をと思い続け、KAATの10周年にそれが実現したことを嬉しく思っています」と語ります。

級友にからかい的にされる孤独な少年ジョバンニを演じるのは、ミュージカルを中心に実績を上げてきた木村達成。賢治の作品とは子ども時代以来の再会で、「他の小説などを初めて読み、今作はもちろん賢治のどの作品にも作者の優しさや人を想う心が散りばめられていると感じました。また、誰にも訪れる死というものを考え、死者を悼み忘れずに心に留めるという根底に流れるテーマは僕にも、現在の社会や人にとっても必要で大切なもの。今この時期に賢治の作品に触れられて良かったと思います」とのこと。続けて「ジョバンニの“いじめられっ子”の部分に最初は目が行ったのですが、稽古が進むうち、それは彼の一部分でしかなく、周囲への不満や怒りもちゃんと持っている、他の級友たちと変わらぬ少年だとわかってきました。父の不在や病身の母という家庭環境が彼に孤独や葛藤を背負わせ、そのことが死者に近づく銀河鉄道の旅へと誘う。出来事や相手に偽りなく向き合う素直さが、演じる手掛かりになりそうです」と、現時点での考えを聞かせてくれました。

精霊アメユキ役のさねよしいさ子以外は新キャストの座組で稽古を始めた白井は、「初演再演で立ち上げた劇世界、それを構成する音楽や歌、身体性をそのまま若い俳優たちに求めてもズレが生じ、噛み合いません。メロディやリズム、劇空間なども少しずつ今の座組用にチューニングする必要がある。そのうえで25年を経た今を生きる俳優陣が、リアルに体感できるキャラクターとドラマを一緒に探し、その先に僕らの求める2020年の『銀河〜』が見えて来るかな、と」という指針。新たな劇場で生まれ変わり、再び宇宙を走り出す汽車の旅に是非ご同乗ください。



木村達成 (きむら・たつなり) 93年12月8日生まれ、東京都出身。最近の主な出演作品に、ミュージカル『ロミオ&ジュリエット』、ミュージカル『エリザベット』、ミュージカル『ファントム』(すべて'19) TOHO MUSICAL LAB.『CALL』('20) などがある。出演ミュージカル『プロデューサーズ』が11月9日より開幕予定のほか、「四月は君の嘘」コンセプトアルバムが今秋発売予定。本作がストレートプレイ初挑戦となる。



上：木村達成 photo by 平岩亨 下：白井晃 photo by 二石友希

主催 発売中

KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
音楽劇『銀河鉄道の夜 2020』

9月20日(日)～10月4日(日) | ホール |

【STAFF】

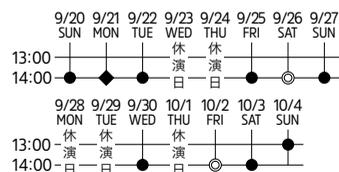
原作：宮沢賢治
脚本：能祖将夫 音楽監督：中西俊博
舞台美術：小竹信節 歌：さねよしいさ子
演出：白井晃

【CAST】

木村達成 佐藤寛太 宮崎秋人 / 岡田義徳
さねよしいさ子 明星真由美 有川マコト 伊達暁
飯森沙百合 伊藤壮太郎 黒田勇 西山友貴 山口将太郎 ほか

【チケット料金(税込)】

全席指定 S席 ¥7,500 A席 ¥5,000
U24チケット(24歳以下) ¥3,750 高校生以下割引 ¥1,000
シルバー割引(満65歳以上) ¥7,000



◆=イープラス貸切公演
◎=託児あり(有料)、公演1週間前までにマザーズ(Tel.0120-788-222)
▶=要事前予約。

地点と松原俊太郎による最新作は
「天皇制」というテーマの下、現在の日本をあぶり出す

京都を拠点に活動する劇団「地点」と劇作家・松原俊太郎による待望の最新作が上演されます。

2018年6月にKAATで上演され、翌年に第63回岸田國士戯曲賞を受賞した『山山』をはじめ、初戯曲にして第15回AAF戯曲賞大賞を受賞した『みちゆき』や、2017年に初演、2018年の再演ではKAATを含む3都市ツアーも行った『忘れる日本人』、地点が拠点にしているアンダースローにて2018年に初演、2019年に再演された『正面に気をつける』など、これまでも現代日本の姿が痛烈に浮かび上がる作品を生み出してきた地点と松原が今回挑むテーマは「天皇制」です。

新天皇が即位し元号も変わり、日本がお祭りムードに包まれていたのが昨年5月のことでした。「天皇制」は日本という国を語るにおいて重要な要素の一つのはずなのに、そのことについて論議したり、芸術作品のテーマにしたりすることはタブーであるという空気があることは否めません。

三浦基は本作の演出にあたり「ヨーロッパやロシアの作家のテキストを扱うとき、そこにはキリスト教が横たわっています。日本には天皇制が横たわっていますが、日本の作家で天皇制と真っ向から格闘した人はそう多くありません。この国で一番リアルティのあるドラマは天皇制にあるのではないかと、というのが私の直感です」と述べています。

また三浦は「僕はこれまでも演出で『君が代』を比較的多く使ってきました。「君が代」が使われたとき、人はそこにどのような意図があるのか、例えばこれは国家体制を批判しているのか、などと考えてしまう曲だと思います。批判と批評は何が違うのか、とよく考えますが、批評というのは自分の個人的な好き嫌いを超えて、人々がどのように受け止めたのか、そして自分がどう思っているのかを伝える行為だと思います」と、『君の庭』official note (https://note.com/kiminoniwa)の演出日記で語っています。

地点の舞台は俳優が叫ぶようにセリフをしゃべる手法が多く見られますが、「もしかしたら今回は地点では珍しくあまり叫ばない演劇になるんじゃないかな」という構想も明かした三浦。それは本作が「オンライン版」と「劇場版」をそれぞれ発表することも大きく関係しているようです。オンライン版には映像演出を加える予定で、しかも京都・豊橋・KAATそれぞれのオリジナルのシーンもあるとのこと。

地点と松原による天皇制をテーマにしたフィクション、そして今なお先が見えないコロナ禍だからこそその新たな挑戦にどうぞご期待ください。



『山山』(2018) photo by 松見拓也

主催 発売中

KAAT×地点 共同制作 第10弾
『君の庭』

劇場版 10月1日(木)～10月11日(日) | 大スタジオ |
オンライン版 10月1日(木) 19:30～10月18日(日) 23:59
配信サービス:PIA LIVE STREAM

【STAFF】

作：松原俊太郎
演出：三浦基

【CAST】

安部聡子 石田大 小原康二
窪田史恵 小川洋平 田中祐気

【チケット料金(税込)】

■劇場版鑑賞券(全席指定) 一般 ¥4,000
U24チケット(24歳以下) ¥2,000
高校生以下割引 ¥1,000
シルバー割引(満65歳以上) ¥3,500
※チケットかながわ、びあ、イープラス、ローソンチケットにて取り扱い
■オンライン版視聴券 ¥1,000
チケット販売期間：9月1日(火)10:00～10月18日(日)21:59
※オンライン版視聴券はチケットぴあのみ取り扱いとなります。



◎=託児あり(有料)、公演1週間前までにマザーズ(Tel.0120-788-222)
▶=要事前予約。
①=アフタートークあり